

国体参加に向け、過去2大会の登録状況と現状を確認し、秋田県選手団としての参加資格を確認します。  
参加資格違反防止のため下記の問いについて記入してください。 ※太線枠内に必須記入 点線枠内は必要時記入

～ 記入は本人によるボールペン直筆でお願いします ～

競技名	選手種別	成年男子 (A・B・C) ※0内スキーのみ	成年女子 (A・B) ※0内スキーのみ	区分	監督・兼任・選手
フリガナ	生年月日	西暦	年	月	日生まれ
氏名					
勤務先・所属先 (正式名称)	在学( 年生)・教諭・職員				
※監督のみ (選手兼監督を含む)	日体協指導者 資格名:	登録番号: (7ケタ)	有効 期限		20
担当監督種別	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子 全種別	競技別 必要資格	番号		

1. 過去2大会の登録状況を記入してください。又は該当に○をつけてください。(①～③は必須、④は分かる範囲で。)

開催期	①出場の有無	②登録都道府県	③登録種別	④参加資格確認
平成28年度 (第72回大会) 【長野】	県予選会	有 ・ 無	・秋田県 ・他県:( )	1、成年 2、少年 1、新卒者 2、結婚・離婚 3、ふるさと 4、震災特例 5、居住地・勤務地 6、その他
	本大会	有 ・ 無	・未登録者	
平成27年度 (第71回大会) 【岩手】	県予選会	有 ・ 無	・秋田県 ・他県:( )	1、成年 2、少年 1、新卒者 2、結婚・離婚 3、ふるさと 4、震災特例 5、居住地・勤務地 6、その他
	本大会	有 ・ 無	・未登録者	

2. 国体参加資格を確認します。該当に○をつけてください。( (1)(2)は必須 )

(1) 日本国籍を有している。または「永住者」(特別永住者を含む)である。	はい	いいえ
(2) 予選会を含め、過去2大会(第72回、第71回)のうち、直前において「秋田県」又は「未登録」である。 例) 71, 72「他県」⇒いいえ      71「秋田県」, 72「他県」⇒いいえ 71「他県」, 72「秋田県」⇒はい      71「秋田県」, 72「未登録」⇒はい	はい	いいえ
2-(2)の回答が「いいえ」の時 A～Dのうち該当するひとつに○	A 平成27年度(平成28年3月)または平成28年度(平成29年3月)に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した。(この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。) [H] 年3月卒   校名:	
※今大会秋田県選手として参加するにあたり使用する制度について回答してください	B 平成27年5月1日～平成29年4月30日までに法的手続きを含め、結婚または離婚した。 → 結婚・離婚 C 「ふるさと選手制度」を活用する。または解除する。(居住地もしくは勤務地で参加する) → ふるさと D 「東日本大震災に係る選手及び監督の国体参加資格の特例措置」を活用する。 → 震災特例	

3. 今大会参加にあたり、該当する選択肢に○をつけ、秋田県内の市町村名を記入してください。

※ウの場合はふるさと登録した学校名を記入してください。

選択肢	市町村名	詳細(必ず一読のうえ確認ください)
ア: 居住地を示す 現住所 【競技団体で統一してください】		平成29年4月30日以前～競技会終了時まで引き続き”住民票を含む”居住地が秋田県内にあり、生活していること。 住民票の「住民となった日」が今年4月30日以前の日付であるか要確認。
イ: 勤務先 【競技団体で統一してください】		平成29年4月30日以前～競技会終了時までの勤務先の所在地が秋田県内であること。 (勤務とは実際に通勤し、その会社と雇用関係があること)
ウ: ふるさと 【ふるさと制度使用選手のみ】	卒業学校名:	卒業した中学校または高校の所在地が秋田県内にあり、そのいずれかを選択し登録する。 (※登録は競技団体を通じて行う。登録後の変更は不可) ※専修学校などは不可(秋田公立美術大学附属高等学院など)

※参加資格の詳細は、日本体育協会・国体参加資格、年齢基準等の解釈説明、「日常生活」ならびに「主たる勤務実態」の考え方を参照

競技団体押印欄 (選手は記入しないでください)

参加資格確認書をチェックし、システム入力したことを証明します。

参加申込担当者

印

# 参加資格確認書の記入について

## 《監督・成年選手用》

～記入者の皆さんは黒太線枠内の記入をしてください～

- ・競技名…自分の競技名を書き、種目がある場合は（ ）で種目を記入してください。

種目がない場合は（ ）なしで構いません。

例 スキー（クロスカントリー）

- ・種別…該当するものに○をしてください。監督は必要ありません。

- ・区別…該当するものに○をしてください。

- ・日体協資格名、登録番号、有効期限、担当監督種別…監督のみ記入です。正確に書いてください。

- ・競技別必要資格、番号…監督のみ記入です。競技に必要な資格がある場合は記入してください。

※本来取得している資格名及び登録番号、有効期限が間違っていると参加資格違反となることがあります。

特に有効期限切れには注意してください。

- ・氏名、フリガナ…中央競技団体等で登録されている氏名を正確に記入してください。

- ・生年月日…西暦で記入してください。

※競技及び種目によって参加可能年齢が異なるため、生年月日に誤り等があると内容によっては参加資格違反となり、団体戦ではチーム全体が参加資格違反となる可能性があります。また個人ではその選手が参加資格違反となる可能性があります。

なお、前年度の生年月日と異なって登録してしまうと別人として扱われてしまいます。

- ・勤務先、所属先…正式名称で記入してください。学校勤務の場合は教諭か職員か○をしてください。なお講師の場合は教諭に○をしてください。学生は学年を記入してください。

なお、プログラム上では(株)など略さずに記載するよう日本体育協会から指導されています。ただし報道発表時は極力短くしなければならないため、(株)等の表記となります。

※所属先が県内に無い場合はふるさと選手制度を使用しなくてはなりません。

また県内にあるか調査が入る事もありますので、誤字脱字が無いよう正式名称で記入してください。

## 1. 過去2大会の登録状況を記入してください。又は該当に○をつけてください。

(①～③は必須、④は分かる範囲で。)

- ①出場の有無…県予選会（県民体育大会や競技団体が指定する選考会、選考大会）に出場しているか。

ブロック大会（冬季大会はありません。）に出場しているか。

本国体（国民体育大会）に出場しているか。

出場している場合は『有』に○、出場していない場合は『無』に○をしてください。

なお、ブロック大会又は本国体において予備登録してされている場合は『有』になります。

※県予選会等の参加履歴については通常、過去2大会で他県から参加歴がある場合は県を変えて出場することができません。

特例として『参加資格確認書』の2-(2)以下のA～Dに当てはまる場合のみ参加可能となります。

- ②登録都道府県…①の際に選手団として登録（出場）した県に該当するものに○をしてください。  
他県の選手団として出場した場合は、他県に○をし、その県名を記入してください
- ③登録種別…②の際に登録（出場）したときの種別に○をしてください。
- ④参加資格確認…わかる範囲で該当するものに○をしてください。  
③で『少年』に○をした場合は『6、その他』に○をしてください。

## 2. 国体参加資格を確認します。該当に○をつけてください。((1) (2) は必須)

(1) 日本国籍を有している。または「永住者」(特別永住者を含む)である。

…『はい』『いいえ』どちらかに○をしてください。

(2) 予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(第72回、第71回)のうち、直前において「秋田県」又は「未登録」である。

…『はい』『いいえ』どちらかに○をしてください。

例) 71, 72『他県』⇒いいえ

71『秋田県』, 72『他県』⇒いいえ

71『他県』, 72『未登録』⇒いいえ

71『他県』, 72『秋田県』⇒はい

71『秋田県』, 72『未登録』⇒はい

71, 72『未登録』⇒はい

2-(2)の回答が「いいえ」の時A～Dのうち該当するひとつに○をしてください。

…この場合特例措置を使用しなければ、本県選手として出場することはできません。

『A, 新卒業者』、『B, 結婚・離婚』、『C, ふるさと』、『D, 震災特例』のうち、参加資格確認書の文を読んで、該当するものを選択してください。

## 3. 今大会参加にあたり、該当する選択肢に○をつけ、秋田県内の市町村名を記入してください。

※ウの場合はふるさと登録した学校名を記入してください

…『ア』『イ』『ウ』のいずれかに○をしてください。

市町村名欄には所在地を記入してください。

※なお、参加資格確認書の『3. 今大会参加にあたり、該当する選択肢に○をつけ、秋田県内の市町村名を記入してください。』の欄には競技団体の指示に従い、該当するア～ウに○をし、市町村名を記載してください。特に指示が無い場合は全てに市町村名を記載してください。